

農業改良助長法

協同農業普及事業の運営に関する指針 (運営指針R02.8制定)

○普及指導活動の基本的な課題

- 1 担い手の育成・確保
- 2 スマート農業の実践等による生産・流通現場の技術革新・生産基盤の強化
- 3 気候変動への対応等環境対策の推進
- 4 食料の安定供給の確保
- 5 農村の振興
- 6 東日本大震災からの復旧・復興と大規模自然災害等への対応

協同農業普及事業の実施に関する方針 (県実施方針(R3~R7))

○普及指導活動の課題と取組

- 1 みやぎの農業を担う次代の人材育成と革新技術の活用等による生産基盤の強化
 - (1)先進的経営体や地域の核となる経営体の育成及び経営の安定化・高度化支援
 - (2)新たな担い手の確保・育成と多様な人材の活躍支援
 - (3)先端技術等の推進・普及による農業経営の効率化・省力化支援
 - (4)園芸産出額の増大に向けた園芸産地の育成・強化支援
 - (5)収益性の高い水田農業・畜産経営の展開支援
- 2 時代のニーズに対応した農畜産物の安定供給
 - (1)みやぎの食と農への理解促進と安全・安心な農畜産物生産の取組支援
 - (2)多様化する需要の変化に対応した生産・販路拡大への取組支援
- 3 多彩な「なりわい」の創出や多様な人材・機関との連携による持続可能な農業・農村の構築
 - (1)地域資源や地域の特色を活かした営農・所得確保に向けた取組支援
 - (2)関係機関等との連携強化と合意形成推進による地域農業の維持・発展支援
 - (3)環境に配慮した持続可能な農業生産の取組支援
 - (4)大規模自然災害等からの復旧・復興に向けた支援

革新支援専門員プロジェクト課題

広域的な課題解決、新技術・革新的技術の普及、民間等との連携

令和6年度普及指導活動方針(年度方針) 年度方針に基づき重点的に取り組む、5つのプロジェクト課題

活動のテーマ

1 農地の効率的かつ総合的な利用に向けた「地域計画」策定支援【地域計画】

- ・市町村が策定する「地域計画」について、策定が円滑に進むよう取組を支援
- ・地域における農業の将来のあり方についての協議支援



2 園芸産出額増大と地域の特色ある園芸品目生産拡大に向けた産地育成の取組支援【園芸振興】

- ・高度な環境制御を導入した施設園芸の取組
- ・大規模露地園芸に取り組む経営体の栽培技術定着支援
- ・多様なニーズに対応した特色ある園芸品目の生産拡大



3 先端技術等の普及拡大と生産性の高い農業の実現に向けた取組支援【アグリテック】

- ・土地利用型農業の効率化・省力化に向けたアグリテックの導入や効果的活用支援(RTK基地局の活用)
- ・搾乳ロボットなどICT機器を用いた、効率的で生産性の高い農業の実現支援



4 環境に配慮した持続可能な農業・農村の構築支援と食と農への理解促進【みどりの食料システム戦略】

- ・環境負荷低減に資する持続可能な農業生産の取組支援
- ・食と農に関する理解促進の取組支援



5 資材価格高騰を背景とした耕畜連携による堆肥等の有効活用支援【耕畜連携】

- ・堆肥の有効活用や地域の未利用有機物の有効活用推進



年度計画

各普及センターが取り組む活動概要

- 1 プロジェクト活動・・・33課題(新規16, 継続17)、活動期間(終期)を定め、対象者を特定して活動 [地域計画、園芸振興、アグリテック、みどり戦略、耕畜連携]
- 2 重点活動……………42課題、活動期間は特に定めず、対象者はプロジェクト活動より広い
- 3 一般活動……………活動内容や対象者が広範囲、普及センターの基礎的な活動

1 主なプロジェクト活動(案)

- 大河原 地域農業の維持・発展に向けた地域内の合意形成による計画作成と実践(地域内の合意形成支援、担い手候補経営支援)
- 気仙沼 担い手を核とした地域農業の継続・発展 (地域農業の将来のあり方の合意形成、高収益作物の検討)
- 大崎 農地整備を契機とした地域営農体制の構築 (将来ビジョン形成支援、法人化支援、高収益作物導入検討)
- 登米 農地整備を契機とした地域営農体制の構築 (地区将来ビジョン検討、高収益作物作付支援)

- ☆仙台 ねぎの次世代担い手育成による産地の強化 (栽培技術指導、交流活動の促進、省力化技術検討)
- ☆亘理 気候変動に対応したいちご管理技術の再構築 (育苗技術向上、天敵等活用による総合的な病害虫管理支援)
- ☆美里 「北浦梨」産地の活性化に向けたICT活用による栽培の「見える化」 (栽培環境・病害虫発生・経営の見える化支援)
- ☆栗原 加工用たまねぎの直播栽培技術の確立による収量確保 (直播栽培の栽培技術指導、RTK活用による作業体系検討)
- ☆石巻 水田におけるばれいしょ及びさつまいもの安定生産 (排水対策、栽培管理、情報発信)
- ☆亘理 土地利用型経営における施設園芸品目の定着 (メロン+ミニトマト+こかぶの栽培体系定着)

- ☆石巻 省力化技術の活用による優良大豆種子の生産性向上 (自動操舵高速直立播種機等活用、機械選別による軽労化評価)
- ☆仙台 稲作省力化技術の定着による大規模土地利用型経営体の基盤強化(乾田直播の導入、アグリテック導入)
- ☆栗原 土地利用型経営体の大豆多収穫技術の体系構築による単収向上(作業精度向上、難防除雑草対策支援)

- ☆気仙沼 中山間地域におけるぶどうのブランディングによる産地化支援 (環境負荷低減、新技術導入、ブランド化支援)
- 大河原 仙南たまねぎの環境に配慮した栽培方法の検証とさらなる生産拡大(リビングマルチや生分解性マルチ、部会活動活性化)
- 大崎 子実用とうもろこしを含む水田農業の輪作技術体系の確立(大豆と水稲の輪作体系確立)
- 登米 グリーンな栽培体系の実践による持続可能な稲作経営の実現(減肥のための施肥体系の検証)

- 美里 堆肥の活用と施肥方法の改善による麦類の品質・収量の向上(堆肥の有効活用、麦類の品質・収量向上)

- ①活動内容 ○現地実証「①RTKシステムと大容量トラクターマウントブームの組合せによる水稲乾田直播の効率的な除草剤散布」、「②衛星センシングとRTKシステム、可変施肥技術の組合せによる水稲の生育ムラの解消と収量・品質の向上」 ○導入支援
- ②

2 重点活動

※(1)は全普及センターで必須取組

- (1)新たな担い手の確保・育成及び女性活躍に関する取組
 - ・農業経営を営もうとする青年等の確保・育成及び女性の活躍に関する取組
- (2)「地域計画」に関する取組
 - ・地域での話し合いや合意形成に向けた取組
- (3)農業経営の安定化や経営継承等に関する取組
 - ・地域の担い手となる経営体の経営高度化に向けた取組
 - ・生産者の経営安定化
 - ・GAPIに取り組む経営体の育成・定着
- (4)新たな園芸産地育成に関する取組
 - ・地域において生産拡大が想定される品目や新たに取り組む園芸品目に対する生産技術支援
 - ・将来のプロジェクト課題となり得る取組
- (5)みどりの食料システム関連に関する取組
 - ・持続的産地体制の構築に向けた省力化・安定化・環境負荷低減推進の取組
- (6)地域の実情に合わせた重点的に活動すべき取組
 - ・特色ある米づくりを通じた地域振興に関する取り組み(金のいぶき等)

3 一般活動

- 地域農業の担い手の育成・確保
- 法人化支援, 法人の経営管理能力向上支援
- 水稲の安定生産と省力・低コスト稲作の推進
- 土地利用型作物(大豆, 麦)の生産性向上支援
- 野菜, 果樹, 花きの生産拡大と品質向上支援
- 畜産の生産性向上と経営安定
- 安全安心な農畜産物の生産支援
- 野生鳥獣被害防止対策の支援
- アグリテックの推進
- 展示・実証等の設置運営

※左記に記載した主なプロジェクト課題は、33課題から抜粋した。
 ()内は主な推進事項等を記載している。
 ☆ 新規課題 ○ 継続課題

第3期みやぎ食と農の県民条例基本計画(R3~R12) 反映